



すたかか

荻田町青少年育成町民会議だより

親子ふれあい広場で “凧づくり・凧あげ大会”



去る、1月29日(日)に青少年育成町民会議では、恒例となった「親子ふれあい広場」での「凧づくり・凧あげ大会」を新津中学校を会場にして開催しました。

去年は雪で中止となりましたが、今年は無事に開催することができ、事前申し込みの親子が次々と会場にやって来られました。

「凧の会」の方の指導やスタッフのアシストのもと、みなさん凧作りを始め、寒い体育館の中にも笑いが渦巻いていました。

まずは下絵を書く、続いて竹ヒゴを曲げるなど日頃は忙しいお父さんやお母さんも一生懸命に子どもと工作をしましたが、子どもを差し置いて一心不乱に凧作りをされるお母さんや、次第に凧の形になってくると、待ちきれずに体育館の中で走って凧あげをしてみる子どもも現れました。

作っている時に降り出した雨も、凧が完成するころには晴れ上がり、みんなでグラウンドに行き、凧あげをはじめました。あいにく風が殆どなかったのですが、凧の会のご指導のもと、風向き、凧の反り具合など工夫しながら試し、次第に、凧の糸を伸ばして思いっきり走り回り、どんどん揚がっていく凧に歓声があがりました。

中には風が揚がり過ぎて高い木にひっかかり、スタッフが木に登る懸命な作業で大切な凧を無事に回収し、子どもとお母さんは大喜びする一幕もありました。この日とばかり、男の子も女の子も広い校庭を、凧糸を引いて元気に走り回り「あがった!」「おもしろい!」と息をきらし大満足! 保護者の皆さんの歓声も響くなごやかな楽しい雰囲気、昔から伝わる和凧の素晴らしさをあらためて感じました。



寒い中を走り回ってお腹も空いたお昼は、トン汁を食べて身体を温め、凧を大事に抱えながら会場を後にしました。

学校関係者を始め多くの皆様のご協力のもと無事に終了することができましたことを心より深謝申し上げます。

心豊かでたくましい青少年の育成をめざしましょう!

家庭教育講演会を開催しました

去る1月20日(金)に苅田町中央公民館において、苅田町青少年育成町民会議と苅田町PTA連合会の合同により、「家庭教育講演会」を開催しました。

講師には、「TNCももち浜ストア」で食育関係のお話をされている佐藤剛史

(九州大学院農学研究院助教)さんをお招きし、「子どもの心も育む食」ということでお話を頂きました。

当日は副町長をはじめ、町民会議の委員、PTA関係者、学校の先生方や一般の方も来られて会場が満席となりました。

子どもの非行に繋がる要因として食生活があげられるとの事で、非行少年が嫌いな食べ物としては果物、牛乳、おひたし、胡麻和え、ごはんそして野菜だそうです。「これらの食品はマクドナルドでは食べられないから」との説明に会場は大笑いでしたが、なぜ果物が?

果物は、親が皮をむく手間が面倒なことからジュースを与えて済ませているのが原因だそうで、朝食を一人で食べている子が多いのも要因だそうです。

食事は忙しくても家族で一緒に食べ、鍋を囲むことの大切さを認識することが大事であって、野菜が足りないから野菜ジュースを子どもに与えると、その子が親になったときには、わが子にジュースを与えるようになってしまうとのことでした。

親と子の信頼関係を築くことが大切であり、これは赤ちゃんの時から形成されるのお話がありました。赤ちゃんはお腹の中にいるときは母体で満たされているが、出産と同時に自分の命を守るためにお腹が空くと泣いてお乳を求めます。そうすると、「泣けば抱いてオッパイをくれる、この人は凄い」と赤ちゃんは理解して、母親との間に信頼関係が生まれ、これが365日続くことで愛情となる。これが無くなると非行に走っていくとのお話に会場はしんみりとなって聞き入っていました。

今日は改めて、「食育」というものを考えさせられた講演会で、終わりには盛大な拍手で講師を送り出しました。



ママたちのつぶやき⑥

卒業式、入学式シーズン到来!

子どもたちが立派に卒業式を迎え、各々の新天地へと向かうことは、とても嬉しいことで、巣立つ子どもを見ている私は、ニコニコです。子どもの成長ほど、親にとって幸せなものはありません。

しかし、成長していない子がいるのも事実です。ただ、年齢が3歳増えただけ。

体が大きくなっただけ。

何も変わっていない子ども。

わが子は、どうなんだろう。

大人自身も変わっていない。

子どもは、親が作る家庭環境そのもので、漬れる子・伸びる子ができると思っています。親次第で、どうにでもなるのでは。逆を言えば、良い環境を作れば、子どもは無限に成長していくのではと考える、この頃です。

将来、自立が出来、望ましい人間関係が保たれる人になりますように…。そのためには、大人自身が変わらねば…。そして私も変わらねばと…。

“大人が変われば、子どもも変わる”とよく聴きます。

ふれあいマラソン大会を後援

平成28年度苅田町ふれあいマラソン大会が、去る3月5日（日）に西部公民館を中心として開催され、苅田町青少年育成町民会議では会長を始めとし、委員たちがマラソンコースの要所にて交通整理などを行いました。

昨年のふれあいマラソン大会は、苅田町商店街を中心に開催されましたが、本年度はふたたび白川地区に会場を移して開催され、みどり豊かな白川の郷を選手たちは、風と一緒に気持ちよく走り抜けていました。

1Kmコースから10マイルコースまで様々なコースが設定さ

れていましたが、

1Kmコースには多くの子どもたちがエントリーしており、スタート地点では道路いっぱいに広がってスタートを待つ子どもたちの歓声に包まれていました。

そんなスタート地点の上空を見上げると、いま話題



のドローンがちびっ子たちのスタートを見守って撮影していました。

苅田町青少年育成町民会議では、毎年ソーメン流し大会をはじめ、各種イベントや子どもたちへの朝の声掛け運動などを開催しており、苅田町の未来を担う子どもたちを育み、見守ることを目的として、若いお母さん方をはじめ沢山の方々がボランティアで活動されております。

みなさんも町民会議に参加をし、苅田町の未来を担う子どもたちに夢を託してみませんか。



子どもたちをみんなで見守りましょう!!

苅田町において、今年度の下半期では右表のように不審者が出没しています。

特に子どもたちの下校時間などは、回りの大人たちの目配りが必要です。



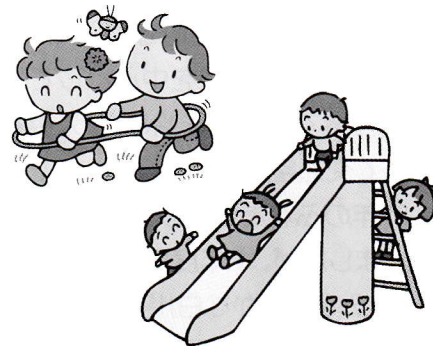
日 時	場 所	当該児童生徒	内 容
9/22(木)	18:30	JR苅田駅	女子児童
9/26(月)	16:00	玉川公園	女子児童
9/29(木)	17:00	南原交差点	女子児童
10/20(木)	16:00	尾倉付近	男子児童
11/10(木)	16:00	富久町付近	女子児童
11/21(月)	16:00	富久町	児童
12/1(木)	6:50	神田町	高校生
12/2(金)	12:10	与原3丁目	女子生徒
1/11(水)	16:00	南原、集付近	女子生徒
2/16(木)	15:30	緑ヶ丘	女子児童
2/16(木)	15:30	富久町	女子児童
2/17(金)	15:40	集付近	女子児童
2/26(日)	午前中	向山公園	女子児童
2/28(火)	7:45	京町1丁目	男子児童
3/2(木)	16:00	神田町3丁目	女子児童

あそびの好きな子どもたちズームイン



あそびは子どもたちの体力、能力、知恵等を育み、集団で遊ぶことで忍耐、協調性を育てて行くとても大切なものです。

近年、子どもたちから場所、時間、仲間等が失われつつある。思い切り遊ばせたいですね。



KYT教室活動を広めよう...

K...キケン
Y...ヨチ
T...トレーニング



活動や遊びの中には危険が潜んでいます。直接体験することで危険回避につながっていく...と前回で述べました。子ども会育成連合会では体験不足の子どもたちに、いろんな場面での危険を図で表し、考えて危険を発見していく学習をしています。

役員・委員講演会開催!

◆とき:29.3.2 ◆ところ:三原文化会館大ホール

今年度の講師は、大分県で子どもの夢を応援する愉快的テレビ番組「ダッシュ君」で有名な「つだ・つよし」さんをお招きし、「キラキラ輝く夢を育てるステキな応援方法」と題してお話を頂きました。

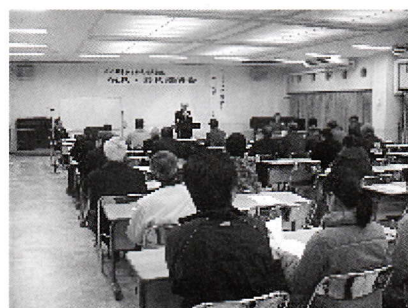
つだつよしさんは、子どもたちの心を掴み、子どもたちの夢を応援するために活躍されるなど、小中高生や保護者を始め現役教職員への講演・研修なども行っています。

講演会が始まると、まずは脳トレで「後出し負けじゃんけん」を行い、会場は自分の脳の反応不足に大爆笑でした。

脳が活性化したところで本題の講演が始まり、つだつよしさんがこれまでの経験談やフリースクールを開催している中での子どもたちへの接し方など、多くの事を語られると委員のみなさんは改めて子どもに対して行ってきた、自分の行動や声かけに反省する部分を見出したようでした。

子どもたちには失敗を経験させることも大事であり、失敗を自ら反省検討することで成功へつながり、「失敗+成功=自信」という方程式が生まれるとのことでした。

参加されたみなさんは、きっと「このお話を周りの人にも聞かせたい」の一心で、90分の講演はあっという間に過ぎ、まだまだ聴きたい様子でしたが、講演内容をしっかりと記憶に留めて無事に楽しい講演会を終了しました。



苅田町立馬場小学校

《28年度 教育目標の重点》

- 自主的、自立的な実践力を身につけた子どもの育成
- 健やかな心と体をもった子どもの育成

合わせよう みんなのやる気 みんなの力

4月下旬、児童会を中心に運動会をがんばり抜くためのスローガンを考えました。このスローガンの下、運動会は大成功に終わりました。そして、このスローガンは運動会だけでなく、今年の馬場小学校全体の目標として、様々な場面で活躍することになりました。



元気な声で

～朝のあいさつ運動の様子～

「馬場小をもっとよくしたい」という思いから、高学年が毎朝交代であいさつ運動に取り組みました。



あいさつ運動に立つ5年生

異学年交流

～11月「馬場っ子タイム」～

総合的な学習の時間に調べたことや学んだことを他の学年に伝えるために一生懸命発表の仕方を工夫し、がんばりました。



1年生の発表を一生懸命聞く6年生

目指せ1000回!! ～12月「チャレンジキッズ集会」の様子～

今年度、初の取り組みとなったチャレンジキッズ集会では、学級ごとに大縄「8の字跳び」に挑戦し、全校の合計が1000回を超えることを目標に毎日練習に取り組みました。



よし今日も練習
がんばるぞー!!

今日も新記録達成だー!!
もっともっと、たくさん跳ぶぞ!!



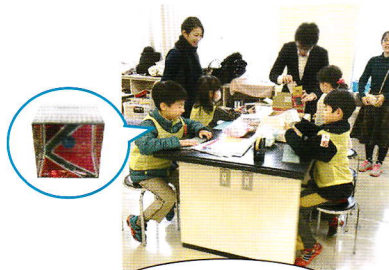
やったー目標達成だ!!
みんなの力を合わせると
何でもできるんだね。



『放課後子どもひろば』紹介⑩

町内の6校の小学校を順に紹介させていただきます。今回は、与原小ひろばです。

放課後子どもひろば事業は、長期休暇中などに地域の方や中学生・高校生との交流を行っています。今年度、与原小子どもひろばでは、西日本工業大学による「NIT ものづくり塾」に参加して、もの作りの楽しさを学びました。



コインが消える
貯金箱を作ったよ!



おもしろ科学体験に
みんな夢中です。



荻田町役場 子育て・健康課
TEL 093-588-1036

子どもひろばよりお知らせ

《日 時》 5月15日(月) 13時30分より受付開始
14時より説明会

《場 所》 三原文化会館 大ホール

《持参品》 登録料1人6000円/年、印鑑

《注 意》 新1年生は5月からの参加です。

次回登録会(3月の登録会は終了いたしました)
※対象校: 荻田・南原・与原・片島・白川の5校

馬場小ひろば参加希望者は、
直接馬場小ひろばへお尋ねください。



「鬼退治をしました」尾倉すみれ幼稚園

2月3日は、節分。豆をまいて邪気を追い払い、一年間の無病息災を願う伝統行事が行われます。

尾倉すみれ幼稚園でも、子どもたちの健康な成長を願うとともに、日本の伝統的行事に親しむことを目的に、先生たちと園児で、節分の豆まきを行いました。

園児全員が、それぞれ手作りの鬼のお面をかぶり、「鬼は外!福は内!」と大きな声をあげながら豆をまきました。子どもたちもお面をかぶった小さな「鬼」ですが、大きな「鬼」役の先生をめがけて、元気いっぱいに豆をまき、園庭いっぱいに広がって大きな鬼を追いかけまわり、全員で力を合わせて見事に鬼を追い払いました。子どもたちの元気には鬼もタジタジ…。



子どもたちの気持ちの中にある「寒がり鬼」や「イヤイヤ鬼」「泣き虫鬼」などのいろいろな鬼も退治できたかな?

豆まきの後は、園児の健康とすこやかな成長を願い、教室でちょっと甘い豆と一緒に食べて、節分を楽しみました。寒い冬は、もうすぐおしまい。暖かい春に向かって、みんな一緒に大きくなろうね!



今年も別れと出会いの時を迎えました。

大切な青少年を見守り、声かけを毎朝続けてこの時期を迎えるのが二十三日目となります。

高齢社会の中で、素敵な居場所を見つけたと自負しております。

子どもたちや先生、地域の方々と顔を合わせ、挨拶を交わす。その時の表情から「今日も元気でいてくれた」それだけです。

私自身も元気をもらい、「また、明日も会いたい」と思うようになり、楽しい目標と居場所が見つけられたのです。

若い時は、わが子の成長ばかりに集中。その子どもが無事あたり前に親となり、祖母という立場も与えられた喜びは、どこかで感謝の気持ちとなりました。この気持ちがボランティア参加に積極的になるきっかけでした。

「荻田町にお世話になった分、どこかでお返し出来ればいいな」、この出会いと別れは私の生きてきた証しです。今では私の方が見守られているのでは…。

これからも沢山の出会いを楽しみに、子どもたちのお父さん、お母さん、一緒に健やかな成長を信じて応援し続けて行きましょう。

吉野利子

編集・発行

荻田町青少年育成町民会議

すこやか編集委員会

☎ 093(434)9838

編集後記